

環境活動レポート

(2016年4月～2017年3月)

2017年4月20日

中国エンジニアリングサービス株式会社

1. 組織の概要

(1) 事業者名： 中国エンジニアリングサービス株式会社

(2) 代表者： 取締役社長 寶来 駿一

(3) 所在地

本 社： 広島市南区東雲二丁目 14 番 6 号

中部事務所： 三重県四日市市三ツ谷町 15 番 22 号

江波事業所： 広島市中区江波西一丁目 15-54 広島市江波水資源再生センター内

緑井事業所： 広島市安佐南区緑井町 311 番広島市緑井浄水場内

牛田事業所： 広島市東区牛田新町一丁目 8-1 広島市牛田浄水場内

四日市事業所： 三重県四日市市中村町字塚谷 2509-1(株)東芝セミコンダクター内 250 棟

東浦事業所： 愛知県知多郡東浦町舟木 50 (株)JDI 東浦工場内

廿日市事業所： 広島県廿日市市宮内 3860 エコセンターはつかいち内

東広島事業所： 広島県東広島市吉川工業団地 7-10 マイクロメトジャパン広島工場 G 棟

安芸事業所： 広島県安芸郡坂町 1322 番地 11 号安芸衛生センター内

尾崎川排水機場： 広島市安芸区矢野町尾崎

宇津戸川水質浄化施設： 広島県世羅郡世羅町大字川尻字権現山

本川排水機場： 広島県竹原市塩町一丁目 1 番

(4) 事業内容

上下水道施設・環境プラント等の維持管理業務、建設業

(5) 事業の規模

①売上高および工事件数 (2016 年度)

総売上： 6 億 8,300 万円

建設業売上高： 5,470 万円

工事件数： 20 件

②従業員数： 110 名 (うち本社 11 名)

③床面積： 本社事務所 85.5 m²

(6) 連絡先： 環境管理責任者 田中 信之 (TEL: 082-283-2737)

2. 対象範囲 (認証・登録範囲)

(1) 組織：本社 (従業員 11 名)

注1：最終的には本社及び中部事務所を対象とする予定ですが、当面本社を対象範囲とし、中部事務所は2019年度までに対象範囲に含める予定です。

注2：江波事業所など11事業所は、自治体等受注先の管理下で常駐して、環境プラントの運転維持管理業務を実施していることから対象範囲に含めていません。

(2) 事業活動：上下水道施設・環境プラント等の運転維持管理業務の管理並びに建設業

3. 環境方針

環 境 方 針

「水と空気と環境に関する企業として、豊富な経験を活かし、
最良の技術とサービスを提供することで地域と社会に貢献する。」

当社は、各種環境プラントの維持管理（運転操作・監視・機械設備保全等）の遂行にあたり、豊富な経験と積み上げてきた技術力を駆使して、地球温暖化の防止や循環型社会の形成に貢献するとともに、事業活動に伴う環境影響をできるだけ少なくするために、環境経営システムを構築・運用し、全社一丸となって積極的に環境保全活動に取り組めます。

＜環境保全への行動指針＞

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを守ります。
2. 具体的な取り組みとして、次のことを推進します。
 - 1) 電力や化石燃料使用量削減による二酸化炭素排出量の削減
 - 2) 廃棄物の削減と適正処理
 - 3) 環境に配慮したプラント管理業務の提供

2015年 7月 31日

中国エンジニアリングサービス株式会社

取締役社長 寶 来 駿 一

4. 環境目標と環境目標達成状況

(1) 環境目標

環境への負荷の自己チェックの結果などを踏まえて「環境目標」を以下のとおり決めました。

項目	2016年度 (4月～3月)	2017年度 (4月～3月)	2018年度 (4月～3月)
電気使用量の削減 (基準値：8,916 kWh)	Δ 2 % 8,738 kWh	Δ 3 % 8,649 kWh	Δ 4 % 8,560 kWh
化石燃料使用量の削減 (基準値：6,875 リットル)	Δ 2 % 6,737 リットル	Δ 3 % 6,669 リットル	Δ 4 % 6,532 リットル
建設廃棄物再資源化の徹底	建設廃棄物再資源化の徹底	建設廃棄物再資源化の徹底	建設廃棄物再資源化の徹底
受託事業所における環境活動の徹底	環境活動の徹底	環境活動の徹底	環境活動の徹底
グリーン購入の推進	現状把握の結果により設定	エコ商品購入割合を増やす	エコ商品購入割合を増やす

- (注) 1. 「基準値」は、2014年度の実績値である。
2. 2016年度の目標は、前年比（4月～3月）実績の1%減である。
3. 事務所の水使用量、ガス使用量は個別のメーターがなく家賃に含まれているため、数値として把握できない。数値目標としては設定しないが、節水・節ガスの取組は徹底する。建設現場の電気使用量、水使用量は把握できないため、数値目標は設定しないが、節電・節水の取組は徹底する。
4. 一般廃棄物は、排出量が少ないことから削減目標は設定していないが、分別等の取組は徹底することとしている。
5. 化学物質は使用していない。

(2) 2016年度の環境目標達成状況(4月～3月の12か月間)

項 目	単 位	目 標	実 績	評 価
電気使用量の削減	kWh	8,738	7,090	○
化石燃料使用量の削減	リットル	6,737	5,872	○
建設廃棄物再資源化の徹底	-	建設廃棄物再資源化の徹底	建設廃棄物再資源化の徹底	○
受託事業所における環境活動の徹底	-	環境活動の徹底	環境活動の徹底	○
節水	-	-	-	○
グリーン購入の推進	-	現状把握の結果により設定	エコ商品購入割合を増やす	○

上記、電気及び化石燃料使用に伴う二酸化炭素排出量実績は、**18,730kg-CO₂**となり、目標値に相当する二酸化炭素排出量 **21,924kg-CO₂** に比べて、**14.6%減少**した。(購入電力の二酸化炭素排出係数は、中国電力の2013年度の排出係数0.719kg-CO₂/kwhを使用した。)

5. 主要な環境活動計画の内容と取り組み結果の評価、次年度の取組内容

(1) 電気使用量の削減

空調の適正温度管理や不要照明をこまめに消すなどにより、電気使用量の削減に取り組んだ結果、目標を達成しました。次年度も引き続き活動を徹底し、CO₂排出削減に努めます。

(2) 化石燃料使用量の削減

使用する営業車等のガソリン使用量については、アイドリングストップの励行や急発進・急加速をしないなどのエコドライブを心がけた結果、目標を達成しました。しかし、仕事量に比例してガソリン使用量も増加すると見込まれます。常日頃のエコドライブを意識して、次年度も年間目標の達成に向けて、取り組みを徹底していきます。

なお、建設業に使用する重機等に関し、その使用頻度はかなり低く専門業者に委託する場合が大半と見込まれます。そのため重機等建設業に伴う二酸化炭素排出量は、低騒音省エネ対応済の重機を使用する業者への発注を徹底するとともに、省エネ運転やアイドリングストップの励行を指導していきます。

(3) 建設廃棄物再資源化の徹底

建設業に伴う産業廃棄物は、その仕様書に再資源化に関する詳細があるため、仕様書どおりの対応を徹底します。そのほかの廃棄物についても、分別の徹底により再資源化に努めています。次年度もこの取り組みを徹底していきます。

(4) 受託事業所における環境活動の徹底

現在受託管理しているすべての事業所は、基本的にエンドユーザー又は元請事業主が電気・ガス・水道などの管理を行っており、当社が直接把握することができないため具体的な数値目標は設定しないが、積極的に節電・節水・省エネ等の提案や自主的な環境保全活動をすすめていくために、社員に対する啓蒙活動や各種資格の取得を進めています。本年度は、現在各事業所で行っている環境活動継続の指導、教育計画の設定を行いました。次年度は、環境活動の継続的な取組とや新たな取組ができるよう指導を行い、設定した教育計画の達成に向けて努力、指導を行います。

(5) 節水

事務所の水使用量は、個別メーターがなく家賃に含まれているため数値として把握できません。数値目標としては設定していませんが、節水の取組は徹底しました。次年度も引き続き節水を徹底していきます。

(6) グリーン購入の推進

グリーン購入に取り組むこととし、事務用品はすべてグリーン購入・エコ商品のカタログより選んで購入しています。今年度は、購入しているものをエコ商品とそうでない商品に分類し、エコ商品購入割合を調査しました。次年度は、エコ商品の購入割合が増やせるように、切替えられるものはグリーン購入に切替えていきます。

6. 環境関連法規制等の遵守状況

廃棄物処理法など当社に適用される環境関連法規制について、遵守評価を行いました。その結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。また、過去3年間、当局からの違反の指摘や訴訟もありませんでした。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

取り組み初年度に引き続き本年度も、環境目標はすべて達成、目標達成のための活動も概ね実行できました。次年度も引き続きこれまでの取り組みを徹底していきます。